

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 8 月 2 1 日
Date of Application:

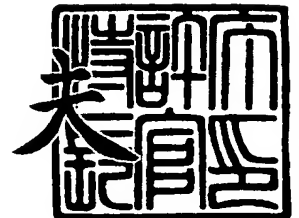
出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 2 4 1 1 5 6
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 2 4 1 1 5 6]

出 願 人 日 本 電 信 電 話 株 式 有 限 公 司
Applicant(s):

2 0 0 3 年 8 月 2 7 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 6 9 9 1 6

【書類名】 特許願

【整理番号】 NTTH145802

【提出日】 平成14年 8月21日

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都千代田区大手町二丁目 3 番 1 号 日本電信電話株式会社内

 【氏名】 安西 浩樹

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都千代田区大手町二丁目 3 番 1 号 日本電信電話株式会社内

 【氏名】 渡部 智樹

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都千代田区大手町二丁目 3 番 1 号 日本電信電話株式会社内

 【氏名】 岸田 克己

【特許出願人】

 【識別番号】 000004226

 【氏名又は名称】 日本電信電話株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100070150

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 伊東 忠彦

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 002989

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

【物件名】	図面	1
【物件名】	要約書	1
【プルーフの要否】	要	

【書類名】 明細書

【発明の名称】 パッケージメディアコンテンツの詳細情報取得方法及びセンタ
端末及びパッケージメディアコンテンツの詳細情報取得プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得システムであって、

ユーザからの入力を検出する第 1 のユーザ入力検出手段と、

前記第 1 のユーザ入力検出手段によるユーザの入力からユーザ ID を取得するユーザ ID 取得手段と、

前記第 1 のユーザ入力検出手段によるユーザの入力、または、メディア内に埋め込まれたデジタルデータからパッケージ ID を取得するパッケージ ID 取得手段と、

前記第 1 のユーザ入力検出手段による興味を持ったコンテンツに対するユーザの入力からパッケージメディアの再生位置情報を取得する再生位置情報取得手段と、

前記ユーザ ID、前記パッケージ ID 及び前記再生位置情報をマーク情報として送信するマーク情報送信手段と、を有するメディア再生機器と、

他の装置からの情報を受信する受信手段と、

パッケージ ID 毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツ ID を関連付けて保持する広告情報保持手段と、

前記受信手段において受信した前記マーク情報に含まれるパッケージ ID と再生位置情報を前記広告情報保持手段に送ることにより、前記ユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、前記ユーザ ID と特定したコンテンツのコンテンツ ID を対応付けて保存するマーク情報保持手段と、

各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否を含む情報をコンテンツ ID と対応付けて保持するコンテンツ情報管理手段と、

前記受信手段において受信した閲覧依頼に含まれるユーザ ID に基づいて前記マーク情報保持手段を参照してコンテンツ ID を特定し、該コンテンツ ID に基

づいてコンテンツ情報管理手段を参照して、該コンテンツ I D に関連する情報を該閲覧依頼元へ送信するマークコンテンツ情報作成・送信手段と、を有するセンタ端末と、

ユーザの入力を検出する第 2 のユーザ入力検出手段と、

前記第 2 のユーザ入力検出手段から取得したユーザ I D を伴う閲覧依頼を前記センタ端末へ送信する閲覧依頼手段と、

前記センタ端末から取得した応答を表示する表示手段と、を有する閲覧端末と、を有することを特徴とするパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得システム。

【請求項 2】 販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得方法において、

メディア再生機器において、

ユーザからのユーザ I D の入力を検出して保持しておく、

前記ユーザからの入力または、メディア内に埋め込まれたデジタルデータからパッケージ I D を取得し、

メディアを再生し、興味を持ったコンテンツに対するユーザの入力からパッケージメディアの再生位置情報を取得し、

前記ユーザ I D、前記パッケージ I D 及び前記再生位置情報をマーク情報としてセンタ端末へ送信し、

前記センタ端末において、

前記メディア再生機器から送信されたマーク情報からユーザを特定し、該マーク情報を保存しておく、

閲覧端末からユーザ I D を含む閲覧依頼を受信すると、

前記閲覧依頼に含まれる前記ユーザ I D に基づいてユーザを特定し、

前記閲覧依頼に含まれるユーザ I D に基づいて、前記マーク情報に含まれるパッケージ I D と再生位置情報を検索し、

前記パッケージ I D と前記再生位置情報に基づいて前記ユーザが興味を示したコンテンツのコンテンツ I D を特定し、該コンテンツ I D に関連する情報を、コ

ンテンツ I D に対応するコンテンツ情報を管理する記憶手段から取得して、前記閲覧端末に送信し、

前記閲覧端末において、

前記センタ端末から取得した応答を表示することを特徴とするパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得方法。

【請求項 3】 販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得システムにおけるセンタ端末であって、

パッケージ I D 毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツ I D を関連付けて保持する広告情報保持手段と、

受信したマーク情報に含まれるパッケージ I D と再生位置情報を前記広告情報保持手段に送って、前記ユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、前記ユーザ I D と特定したコンテンツのコンテンツ I D を対応付けて保存するマーク情報保持手段と、

各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否を含む情報をコンテンツ I D と対応付けて保持するコンテンツ情報管理手段と、

閲覧依頼を受信し、該閲覧依頼に含まれるユーザ I D に基づいて前記マーク情報保持手段を参照してコンテンツ I D を特定し、該コンテンツ I D に基づいて前記コンテンツ情報管理手段を検索して、該コンテンツ I D に関連する情報を該閲覧依頼元に送信するマークコンテンツ情報作成・送信手段と、を有することを特徴とするセンタ端末。

【請求項 4】 ユーザ I D、コンテンツ I D、予約を希望する予約日時を含むコンテンツの予約依頼を取得し、該ユーザ I D からユーザを特定し、該ユーザ I D 毎に、該コンテンツ I D 及び、予約日時を管理する予約管理手段を更に有する請求項 3 記載のセンタ端末。

【請求項 5】 販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するシステム上のセンタ端末におけるパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得方法において、

他の装置から送信されたユーザ I D、パッケージ I D 及び再生位置情報からなるマーク情報の該ユーザ I D からユーザを特定し、該マーク情報を保存しておく、

パッケージ I D 毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツ I D を関連付けて保持している広告情報保持手段に対して、前記マーク情報に含まれる前記パッケージ I D と前記再生位置情報に基づいて、前記ユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、前記ユーザ I D と特定されたコンテンツのコンテンツ I D を対応付けてマーク情報保持手段に保存し、他の装置からユーザ I D を含む閲覧依頼を受信すると、

前記閲覧依頼に含まれる前記ユーザ I D に基づいてユーザを特定し、

前記閲覧依頼に含まれるユーザ I D に基づいて、前記マーク情報に含まれるパッケージ I D と再生位置情報に基づいて前記ユーザが興味を示したコンテンツのコンテンツ I D を特定し、各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否を含む情報をコンテンツ I D と対応付けて保持するコンテンツ情報管理手段から該コンテンツ I D に関連する情報を取得してマークコンテンツ情報を作成し、

前記マークコンテンツ情報を前記閲覧端末に送信することを特徴とするパッケージメディアコンテンツの詳細情報取得方法。

【請求項 6】 販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するシステム上のセンタ端末におけるパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得プログラムであって、

他の装置から送信されたユーザ I D、パッケージ I D 及び再生位置情報からなるマーク情報のユーザ I D からユーザを特定し、該マーク情報を保存するステップと、

パッケージ I D 毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツ I D を関連付けて保持している広告情報保持手段に対して、前記マーク情報に含まれる前記パッケージ I D と前記再生位置情報に基づいて、前記ユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、前記ユーザ I D と特定さ

れたコンテンツのコンテンツIDを対応付けてマーク情報保持手段に保存するステップと、

他の装置からユーザIDを含む閲覧依頼を受信するステップと、

前記閲覧依頼に含まれる前記ユーザIDに基づいてユーザを特定するステップと、

前記閲覧依頼に含まれるユーザIDに基づいて、前記マーク情報に含まれるパッケージIDと再生位置情報に基づいて前記ユーザが興味を示したコンテンツのコンテンツIDを特定し、各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否を含む情報をコンテンツIDと対応付けて保持するコンテンツ情報管理手段から該コンテンツIDに関連する情報を取得してマークコンテンツ情報を作成するステップと、

前記マークコンテンツ情報を前記閲覧端末に送信するステップと、を実行することを特徴とするパッケージメディアコンテンツの詳細情報取得プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、パッケージメディアコンテンツの詳細情報取得方法及びセンタ端末及びパッケージメディアコンテンツの詳細情報取得プログラムに係り、特に、販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームなどのコンテンツを記憶している光磁気ディスクや磁気テープなどの記憶媒体（以下、パッケージメディアと記す）において、ユーザが興味を持ったコンテンツの任意の部分を特定し、その部分に関連する詳細情報を任意のタイミングで提供するためのパッケージメディアコンテンツの詳細情報取得方法及びセンタ端末及びパッケージメディアコンテンツの詳細情報取得プログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、コンテンツの任意の部分に関連する詳細情報をユーザに提供する技術としては、以下のようなものがある。

【0003】

・「情報提供装置」（特開平 9-160852 号）

当該技術は、放送メディアの受信端末とユーザ端末（コンピュータ）を組み合わせ、ユーザの簡単な操作により、視聴している番組の詳細情報を要求することができる。

【0004】

また、チャンネル番号とユーザ要求取得時刻の組を、番組の詳細情報のアドレスを提供しうるアドレスサーバに送信し、アドレスサーバは、受信した組を詳細情報のアドレスに変換し、ユーザ端末に提供する。

【0005】

・「AV情報の再生システム及び同システムに適用する再生方法」（特開平 9-328596 号）

当該技術は、記憶媒体を再生中、詳細情報（Web ページ）を表示可能な場合にそのことを明示するマーク（「Web マーク」）を表示し、「Web マーク」をクリックするなどのユーザの操作により、詳細情報を再生装置に提供する。

【0006】

・「再生システム、再生端末装置」（特開平 10-62724 号）

当該技術は、再生端末で再生されるデータファイル（音楽や映像）に関連した詳細情報が情報サーバから再生端末に（ダウン）ロードされ、表示される。

【0007】

また、再生端末は、再生データファイルの識別情報を情報センタに送信し、情報センタは、受信した識別情報に基づいて、詳細情報の URL を再生端末に送信する。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来の技術には、以下のような問題がある。

【0009】

上記の「情報提供装置」（特開平 9-160852）は、放送メディアでの利用を想定している。また、ユーザによる詳細情報要求の操作の検出に、チャンネル番号と時刻を用いているため、パッケージメディアでの検出に応用することは不

可能である。

【0010】

また、上記の「AV情報の再生システム及び同システムに適用する再生方法」(特開平9-328596号)の詳細情報の表示は、「webマーク」が表示されているときにユーザによる要求操作が行われた場合のみである。任意のタイミングで非同期に表示させたり、再生機器とは別の端末に表示させることはできない。

【0011】

また、上記の「再生システム、再生端末装置」(特開平10-62724号)は、再生、コンテンツの中で、ユーザが興味を持ったものに関する詳細情報のみを表示することはできない。また、その詳細情報を、任意のタイミングで表示させることもできない。

【0012】

本発明は、上記の点に鑑みなされたもので、パッケージメディアの再生機器において、再生コンテンツの任意の部分を特定するユーザの操作を検出し、その部分に関する詳細情報をユーザが希望する任意のタイミングで、再生機器あるいは、ユーザが表示を希望する任意の端末に表示することが可能なパッケージメディアコンテンツの詳細情報取得方法及びセンタ端末及びパッケージメディアコンテンツの詳細情報取得プログラムを提供することを目的とする。

【0013】

【課題を解決するための手段】

図1は、本発明の原理構成図である。

【0014】

本発明は、販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得システムであって、

ユーザからの入力を検出する第1のユーザ入力検出手段230と、

第1のユーザ入力検出手段230によるユーザの入力からユーザIDを取得するユーザID取得手段240と、

第1のユーザ入力検出手段230によるユーザの入力、または、メディア内に埋め込まれたデジタルデータからパッケージIDを取得するパッケージID取得手段250と、

第1のユーザ入力検出手段230による興味を持ったコンテンツに対するユーザの入力からパッケージメディアの再生位置情報を取得する再生位置情報取得手段260と、

ユーザID、パッケージID及び再生位置情報をマーク情報として送信するマーク情報送信手段270と、を有するメディア再生機器200と、

他の装置からの情報を受信する受信手段110と、

パッケージID毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツIDを関連付けて保持する広告情報保持手段150と、

受信手段110において受信したマーク情報に含まれるパッケージIDと再生位置情報を広告情報保持手段150に送ることにより、ユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、ユーザIDと特定したコンテンツのコンテンツIDを対応付けて保存するマーク情報保持手段140と、

各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否を含む情報をコンテンツIDと対応付けて保持するコンテンツ情報管理手段160と、

受信手段110において受信した閲覧依頼に含まれるユーザIDに基づいてマーク情報保持手段を参照してコンテンツIDを特定し、該コンテンツIDに基づいてコンテンツ情報管理手段160を検索して、該コンテンツIDに関連する情報を該閲覧依頼元に送信するマークコンテンツ情報作成・送信手段170と、を有するセンタ端末100と、

ユーザの入力を検出する第2のユーザ入力検出手段310と、

第2のユーザ入力検出手段310から取得したユーザIDを伴う閲覧依頼をセンタ端末に送信する閲覧依頼手段330と、

センタ端末100から取得した応答を表示する表示手段340と、を有する閲覧端末300と、を有する。

【0015】

図2は、本発明の原理を説明するための図である。

【0016】

本発明は、販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得方法において、

メディア再生機器において、

ユーザからのユーザIDの入力を検出して保持しておき（ステップ1）、

ユーザからの入力または、メディア内に埋め込まれたデジタルデータからパッケージIDを取得し（ステップ2）、

メディアを再生し、興味を持ったコンテンツに対するユーザの入力からパッケージメディアの再生位置情報を取得し（ステップ3）、

ユーザID、パッケージID及び再生位置情報をマーク情報としてセンタ端末に送信し（ステップ4）、

センタ端末において、

メディア再生機器から送信されたマーク情報からユーザを特定し、該マーク情報を保存しておき、

閲覧端末からユーザIDを含む閲覧依頼を受信すると、

閲覧依頼に含まれるユーザIDに基づいてユーザを特定し（ステップ5）、

閲覧依頼に含まれるユーザIDに基づいて、マーク情報に含まれるパッケージIDと再生位置情報を検索し（ステップ8）、

パッケージIDと再生位置情報に基づいてユーザが興味を示したコンテンツのコンテンツIDを特定し（ステップ9）、該コンテンツIDに関連する情報を、コンテンツIDに対応するコンテンツ情報を管理する記憶手段から取得して（ステップ10）、閲覧端末に送信し（ステップ11）、

閲覧端末において、

センタ端末から取得した応答を表示する（ステップ12）。

【0017】

本発明は、販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得システムにおけるセンタ端末であって、

パッケージID毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツIDを関連付けて保持する広告情報保持手段と、

受信したマーク情報に含まれるパッケージIDと再生位置情報を広告情報保持手段に送って、ユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、ユーザIDと特定したコンテンツのコンテンツIDを対応付けて保存するマーク情報保持手段と、

各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否を含む情報をコンテンツIDと対応付けて保持するコンテンツ情報管理手段と、

閲覧端末から閲覧依頼を受信し、該閲覧依頼に含まれるユーザIDに基づいてマーク情報保持手段を参照してコンテンツIDを特定し、該コンテンツIDに基づいてコンテンツ情報管理手段を検索して、該コンテンツIDに関連する情報を該閲覧依頼元に送信するマークコンテンツ情報作成・送信手段と、を有する。

【0018】

また、センタ端末は、他の装置からユーザID、コンテンツID、予約を希望する予約日時を含むコンテンツの予約依頼を取得し、該ユーザIDからユーザを特定し、該ユーザID毎に、該コンテンツID及び、予約日時を管理する予約管理手段を更に有する。

【0019】

本発明は、販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するシステム上のセンタ端末におけるパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得方法において、

他の装置から送信されたユーザID、パッケージID及び再生位置情報からなるマーク情報の該ユーザIDからユーザを特定し、該マーク情報を保存しておき、

パッケージID毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツIDを関連付けて保持している広告情報保持手段に対して、マーク情報に含まれるパッケージIDと再生位置情報に基づいて、ユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、ユーザIDと特定されたコンテンツのコンテンツIDを対応付けてマーク情報保持手段に保存し、

他の装置からユーザ I D を含む閲覧依頼を受信すると、
閲覧依頼に含まれるユーザ I D に基づいてユーザを特定し、
閲覧依頼に含まれるユーザ I D に基づいて、マーク情報に含まれるパッケージ I D と再生位置情報に基づいてユーザが興味を示したコンテンツのコンテンツ I D を特定し、各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否を含む情報をコンテンツ I D と対応付けて保持するコンテンツ情報管理手段から該コンテンツ I D に関連する情報を取得してマークコンテンツ情報を作成し、
マークコンテンツ情報を閲覧端末に送信する。

【 0 0 2 0 】

本発明は、販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームを含むコンテンツを記憶するパッケージメディアコンテンツの詳細情報を取得するシステム上のセンタ端末におけるパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得プログラムであって、

他の装置から送信されたユーザ I D 、パッケージ I D 及び再生位置情報からなるマーク情報のユーザ I D からユーザを特定し、該マーク情報を保存するステップと、

パッケージ I D 毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツ I D を関連付けて保持している広告情報保持手段に対して、マーク情報に含まれるパッケージ I D と再生位置情報に基づいて、ユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、ユーザ I D と特定されたコンテンツのコンテンツ I D を対応付けてマーク情報保持手段に保存するステップと、

他の装置からユーザ I D を含む閲覧依頼を受信するステップと、

閲覧依頼に含まれるユーザ I D に基づいてユーザを特定するステップと、

閲覧依頼に含まれるユーザ I D に基づいて、マーク情報に含まれるパッケージ I D と再生位置情報に基づいてユーザが興味を示したコンテンツのコンテンツ I D を特定し、各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否を含む情報をコンテンツ I D と対応付けて保持するコンテンツ情報管理手段から該コンテンツ I D に関連する情報を取得してマークコンテンツ情報を作成するステップと、

マークコンテンツ情報を閲覧端末に送信するステップと、を実行する。

【0021】

上記のように、本発明では、ユーザがパッケージ再生中に、ユーザが興味を持った時点でセンタ端末に指示を出すことにより、再生位置情報、パッケージID、ユーザIDをセンタ端末に送り、これをセンタ端末においてマーク情報として記憶する。別契機で、センタ端末に閲覧依頼を発行することにより、センタ端末では、ユーザIDからユーザが興味を持ったコンテンツ関連情報を取得することが可能となる。

【0022】

【発明の実施の形態】

以下、図面と共に本発明の一実施の形態について説明する。

【0023】

〔第1の実施の形態〕

本実施の形態では、レンタルサービスを例に説明する。

【0024】

パッケージメディアは、レンタルビデオやDVDなどで、ユーザはコンテンツの本編に付随する予告編などの広告コンテンツに興味を持つものとする。ユーザが広告コンテンツを視聴して興味を持ったときに、リモコンなどにより簡単な操作を行うだけでその情報がセンタ端末に保持され、ユーザが希望する任意のタイミングで保持されている広告コンテンツに関する詳細情報を閲覧することができる。詳細情報は、広告コンテンツのタイトルやレンタル料金、ユーザから閲覧要求があった時点でのレンタル可否、レンタルの予約可否などである。

【0025】

図3は、本発明の第1の実施の形態におけるシステム構成を示す。

【0026】

ユーザが借りてきたビデオやDVDなどのメディアを再生するメディア再生機器200と、ユーザが興味を覚えた広告コンテンツの情報を記憶し、ユーザの要求に基づき、広告コンテンツに関する詳細情報の提示や予約受付などを行うセンタ端末100と、ユーザが任意のタイミングで広告コンテンツに関する詳細情報

を要求する際に用いる閲覧端末 3 0 0 から構成される。

【 0 0 2 7 】

これらは、インターネットなどの通信回線で接続されているものとする。ここでは、メディア再生機器 2 0 0 と閲覧端末 3 0 0 を別の端末として説明するが、同じ端末であってもよい。

【 0 0 2 8 】

図 3 に示す各構成について説明する。

【 0 0 2 9 】

メディア再生機器 2 0 0 は、メディア再生部 2 1 0、表示部 2 2 0、ユーザ入力検出部 2 3 0、ユーザ I D 取得・保持部 2 4 0、パッケージ I D 保持部 2 5 0、再生位置情報取得部 2 6 0、マーク情報送信部 2 7 0 から構成される。

【 0 0 3 0 】

メディア再生部 2 1 0 は、ビデオカセットや D V D などのメディアの挿入口を持ち、メディアに収録されている映像データを再生する。

【 0 0 3 1 】

表示部 2 2 0 は、メディア再生部 2 1 0 により再生された映像データや、ユーザに対して操作メニューや操作内容の確認を求める内容を表示する。

【 0 0 3 2 】

ユーザ入力検出部 2 3 0 は、ユーザにより入力されるユーザ I D やパッケージ I D のほか、広告コンテンツを特定するためのユーザの入力を検出する。

【 0 0 3 3 】

ここで、ユーザ I D (U I D) とは、ユーザ登録をしたユーザ毎にシステムから予め割り振られるもので、ユーザを特定するために用いられる。また、パッケージ I D (P I D) とは、ユーザが借りてきた映像コンテンツメディア毎に予め割り振られたものである。

【 0 0 3 4 】

ここで、各 I D の具体例とそれぞれの検出方法を述べる。ユーザ I D (U I D) は、数字やアルファベットで構成される文字列をリモコンやキーボードなどを用いて入力されたものを検出する方法や、ユーザ入力検出部 2 3 0 としてバーコ

ードリーダーを用いて、会員カードに備わっているバーコードを読み取ることで検出する方法などが考えられる。

【0035】

パッケージID (PID) も同様に、パッケージに書かれている文字列をユーザが入力したものを検出する方法や、パッケージに付随するバーコードを読み取る方法もある。また、メディア内にデジタルデータとして埋め込む方法もある。

【0036】

ユーザID取得・保持部240は、ユーザ入力検出部230により検出されたユーザID (UID) を取得し、保持する。また、メディア再生機器毎に予めユーザID (UID) を保持していてもよい。

【0037】

パッケージID保持部250は、ユーザ入力検出部230で取得するか、または、メディア内に埋め込まれたデジタルデータからパッケージID (PID) を取得し、保持する。

【0038】

再生位置情報取得部260は、興味を持った広告コンテンツに対するユーザの入力を検出した際に、その時の再生位置情報 (T) を取得する。再生位置情報 (T) は、収録されている映像全体の相対時間などである。このとき、ユーザの入力は、例えば、リモコンの一時停止ボタンの押下などを想定する。

【0039】

マーク情報送信部270は、保持しているユーザID (UID) 、パッケージID (PID) 、再生位置情報 (T) で構成されるマーク情報 (M) を作成し、センタ端末100に送信する。

【0040】

本実施の形態では、各構成要素がすべて1つの機器の中に実装される場合を示すが、ユーザ入力検出部230、ユーザID取得・保持部240、パッケージID保持部250、再生位置情報取得部260、マーク情報送信部270の各構成は、すべてあるいは一部が別の端末やカードなどに実装される場合もある。その

場合は、別端末やカードとメディア再生機器 3 0 0 との間に、赤外線などの無線通信手段や、カードリーダーなどのデータ通信手段が必要になる。別端末としては、携帯電話や P D A などの携帯端末、カードとしては、I C カードや磁気カードなどが用いられる場合がある。その一例は、第 2 の実施の形態において後述する。

【 0 0 4 1 】

また、同図の例では、センタ端末 1 0 0 は 1 つであるが、1 つに限定されるものではなく、複数存在することも可能である。例えば、パッケージの製作会社毎にセンタ端末が設けられることもあれば、レンタル会社毎にセンタ端末が設けられることもある。例えば、パッケージに接続先が記載されていたり、レンタル会社が発行するユーザカードに接続先が記載されていたり、レンタル会社が発行するユーザカードに接続先が記載されていることを想定することができる。

【 0 0 4 2 】

次に、センタ装置 1 0 0 は、受信部 1 1 0、ユーザ特定部 1 2 0、ユーザ情報管理部 1 3 0、マーク情報保持部 1 4 0、広告情報保持部 1 5 0、コンテンツ情報管理部 1 6 0、マークコンテンツ情報作成・送信部 1 7 0、及び予約管理部 1 8 0 から構成される。

【 0 0 4 3 】

これらの構成要素は、単一の機器で構成される必要はなく、別々の機器内に実装されてもよい。特に支店として複数の店舗を構える場合、ユーザ情報の管理や、貸出可否及び予約可否の管理は店舗毎に行い、マーク情報の保持は一箇所に集約して行う場合などが考えられる。

【 0 0 4 4 】

受信部 1 1 0 は、メディア再生機器 2 0 0 からマーク情報 (M) を、閲覧端末 3 0 0 から閲覧依頼 (L) や予約依頼 (R) を受信し、その中に含まれるユーザ I D (U I D) をユーザ特定部 1 2 0 に送る。ユーザが特定されたら、マーク情報 (M) を受信した場合は、マーク情報保持部 1 4 0 にマーク情報 (M) の保存を依頼し、閲覧情報 (L) を受信した場合には、マークコンテンツ情報作成・送信部 1 7 0 にマークコンテンツ情報 (C) の作成を依頼し、予約依頼 (R) の場

合は予約管理部 1 8 0 に予約を依頼する。

【 0 0 4 5 】

マーク情報保持部 1 4 0 は、マーク情報 (M) に含まれるパッケージ I D (P I D) と再生位置情報 (T) を広告情報保持部 1 5 0 に送ってユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、ユーザ I D (U I D) と特定したコンテンツのコンテンツ I D (C I D) を関連させて保存する。ここで、コンテンツ I D (C I D) とは、映像コンテンツを一意に特定するために予め各コンテンツ毎に割り振られているものである。

【 0 0 4 6 】

広告情報保持部 1 5 0 は、パッケージ I D (P I D) 毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツ I D (C I D) を関連付けて保持する。

【 0 0 4 7 】

コンテンツ情報管理部 1 6 0 は、各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否などの情報をコンテンツ I D (C I D) と関連付けて保持する。

【 0 0 4 8 】

マークコンテンツ情報作成・送信部 1 7 0 は、閲覧依頼 (L) に含まれるユーザ I D (U I D) を用いてマーク情報保持部 1 4 0 に保存データを問い合わせ、このユーザによりマークが行われたコンテンツの情報 (マークコンテンツ情報 (C)) を作成し、閲覧端末 3 0 0 に送信する。この情報には、マークが行われたコンテンツのタイトルやレンタル料金、貸出可否、予約可否、コンテンツ I D (C I D)、他のお薦めコンテンツ情報などが含まれる。ユーザがマークした際に視聴した広告映像を再度ここで提供する場合もある。

【 0 0 4 9 】

予約管理部 1 8 0 は、予約依頼 (R) に含まれるユーザ I D (U I D) とコンテンツ I D (C I D) と予約日時 (D) を用いて予約を管理する。ここで、予約日時 (D) は、ユーザにより入力された予約を希望する日時である。このとき、パスワードなどを用いたユーザの認証を行う場合もある。

【 0 0 5 0 】

閲覧端末 3 0 0 は、ユーザ入力検出部 3 1 0、ユーザ I D 取得・保持部 3 2 0、マークコンテンツ情報閲覧依頼部 3 3 0、表示部 3 4 0、及び予約依頼部 3 5 0 から構成される。

【 0 0 5 1 】

ユーザ入力検出部 3 1 0 とユーザ I D 取得・保持部 3 2 0 は、メディア再生機器 2 0 0 と同じであるため、これらの説明は省略する。

【 0 0 5 2 】

マークコンテンツ情報閲覧依頼部 3 3 0 は、ユーザの入力によりマークされた広告コンテンツの情報閲覧を要求するために、ユーザ I D (U I D) を含む閲覧依頼 (L) を作成し、センタ端末 1 0 0 に送信する。

【 0 0 5 3 】

表示部 3 4 0 は、センタ端末 1 0 0 からマークコンテンツ情報 (C) を受信し、表示する。

【 0 0 5 4 】

予約依頼部 3 5 0 は、ユーザの入力により取得した予約日時 (D) とマークコンテンツ情報 (C) に含まれるコンテンツ I D (C I D) ユーザ I D (U I D) で構成される予約依頼 (R) を作成し、センタ端末 1 0 0 に送信する。このとき、センタ端末 1 0 0 からのユーザ認証の要求に従い、ユーザのパスワードの入力などを検出してセンタ端末 1 0 0 に送信する場合もある。

【 0 0 5 5 】

次に、図 4 ～図 8 を用いて処理の流れを説明する。

【 0 0 5 6 】

図 4 は、本発明の第 1 の実施の形態におけるメディア再生機器の処理のフローチャートである。

【 0 0 5 7 】

まず、ユーザがレンタルしてきたビデオや D V D が当該メディア再生機器 2 0 0 にセットされると、ユーザ I D 取得・保持部 2 4 0 で予めユーザ I D (U I D) を保持しているかどうかを確認する。もし保持していない場合には (ステップ

1 0 1、n o)、ユーザによるユーザ I D (U I D) の入力を検出して (ステップ 1 0 2、y e s)、保持する (ステップ 1 0 3)。保持している場合には、そのまま次の処理を行う。

【0 0 5 8】

次に、ユーザの入力を検出するか、または、メディアに記録されているデジタルデータを読み取ることにより、パッケージ I D (P I D) を取得し (ステップ 1 0 4)、メディア再生処理を行う (ステップ 1 0 5)。そして、ユーザが視聴した広告コンテンツに興味を持ちマークしておくために行った入力を検出し (ステップ 1 0 6)、そのときの再生位置情報 (T) を取得する (ステップ 1 0 7)。

【0 0 5 9】

前述のように、このときのマークの方法は、リモコンを用いて「一時停止ボタン」を押すといった、簡単な方法で行えるものとする。保持しているユーザ I D (U I D)、パッケージ I D (P I D)、取得した再生位置情報 (T) を用いてマーク情報 (M) を作成し、センタ端末 1 0 0 に送信する (ステップ 1 0 8)。

次に、センタ端末 1 0 0 の処理について説明する。

【0 0 6 0】

図 5 は、本発明の第 1 の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャートである。

【0 0 6 1】

メディア再生機器 2 0 0 からのマーク情報 (M) か、閲覧端末 3 0 0 からの閲覧依頼 (L) または、予約依頼 (R) の受信を待機する。マーク情報 (M) を受信した場合 (ステップ 2 0 1、y e s)、その中に含まれるユーザ I D (U I D) を用いてユーザの特定処理を行う (ステップ 2 0 2)。ユーザの特定処理は、受信部 1 1 0 からユーザ I D (U I D) を受け取ったユーザ特定部 1 2 0 が、予めユーザの登録に基づいて、ユーザ情報を保持しているユーザ情報管理部 1 3 0 に問い合わせ、システムに登録されているユーザによるマーク情報 (M) の送信であることを確認する。もし、登録されていない場合は、新規に登録を要求する表示をメディア再生機器 2 0 0 に行わせるための情報を送信してもよい。

【0062】

続けて、マーク情報（M）の保存処理を行う（ステップ203）。このサブフローを図6を用いて説明する。

【0063】

マーク情報保持部140は、受信部110からマーク情報（M）を受信し（ステップ301）、その中のパッケージID（PID）と再生位置情報（T）を広告情報保持部150に送り、該当する広告コンテンツのコンテンツID（CID）を取得する（ステップ302）。広告情報保持部150で保持するデータの例を図7に示す。パッケージID（PID）毎に、広告コンテンツの再生位置とそのコンテンツID（CID）を対応付けて記憶している。取得したコンテンツID（CID）とユーザID（UID）を対応付けて保存する（ステップ303）。このとき、マークが行われた日時として、システムが持つ時計がその時に指し示す時刻を合わせて記憶してもよいし、そのユーザによりそのコンテンツのレンタルが行われたかどうかを判別するためのフラグを記憶するデータ領域を設けてもよい。マーク情報保持部140で保持するデータの例を図8に示す。なお、同図では、ユーザは1つのマークを付与する例を示しているが、1ユーザにつき複数のマーク情報を管理できる。閲覧依頼に対して、ユーザIDからコンテンツを特定するときに、1つのコンテンツに特定しなくてもよく、ユーザIDと組み合わせ保存しているコンテンツIDはすべて閲覧端末300に表示してもよい。勿論、何等かの処理で表示させるコンテンツを絞ることもあり得る。一例としては、同図に示す『レンタル有無』のフラグを用いて、既にレンタル済みのコンテンツは表示しないといったことも可能である。

【0064】

次に、閲覧端末からの閲覧依頼（L）の受信を待機し、受信した場合は（ステップ204）、その中に含まれるユーザID（UID）を用いてユーザ特定処理を行う（ステップ205）。その処理は、前述と同様であるので説明は省略する。

【0065】

続けてマークコンテンツ情報（C）を作成し、閲覧端末300に送信する処理

を行う（ステップ 2 0 6）。当該処理を図 9 を用いて説明する。

【 0 0 6 6 】

図 9 は、本発明の第 1 の実施の形態におけるマークコンテンツ情報作成・送信処理のフローチャートである。

【 0 0 6 7 】

マークコンテンツ情報作成・送信部 1 7 0 は、受信部 1 1 0 から閲覧依頼（L）を受信し（ステップ 4 0 1）、その中のユーザ ID（U I D）をマーク情報保持部 1 4 0 に送り、そのユーザ ID（U I D）に対応付けて記憶しているコンテンツ ID（C I D）を特定する（ステップ 4 0 2）。このとき、レンタルの有無を表すフラグのデータがある場合には、まだレンタルされていないコンテンツのデータのみ取得してもよい。取得したコンテンツ ID（C I D）をコンテンツ情報管理部 1 6 0 に送り、必要な情報を取得する（ステップ 4 0 3）。例えば、コンテンツのタイトル、レンタル料金、現在の予約・貸出の可否情報等である。コンテンツ情報管理部 1 6 0 で保持するデータの例を図 1 0 に示す。その他、広告コンテンツの映像や、その他のコンテンツのお薦め情報が含まれていてもよい。これらの情報とコンテンツ ID（C I D）を用いて、マークコンテンツ情報（C）を作成し、閲覧端末 3 0 0 に送信する（ステップ 4 0 4）。

【 0 0 6 8 】

閲覧端末 3 0 0 から予約依頼（R）を受信した場合は、その中に含まれるユーザ ID（U I D）を用いてユーザ特定処理を行い、続けて予約受付処理を行う。このときのユーザ特定処理は、ユーザの認証を行うために、パスワードの入力などを要求する情報を閲覧端末 3 0 0 に送信する処理が追加される場合もある。予約受付処理は、予約管理部 1 8 0 が受信部 1 1 0 から予約依頼（R）を受け取り、その中に含まれるユーザ ID（U I D）とコンテンツ ID（C I D）と予約日時（D）、及びコンテンツ情報管理部 1 6 0 で保持する予約可否情報を用いて、そのコンテンツのレンタル予約を行う。

【 0 0 6 9 】

図 1 1 は、本発明の第 1 の実施の形態における閲覧端末の処理のフローチャートである。

【0070】

まず、ユーザID (UID) の取得処理を行う。この処理は、メディア再生機器 200 における処理と同じであるので説明は省略する。

【0071】

ユーザID (UID) を用いて閲覧依頼 (L) を作成し、センタ端末 100 に送信する (ステップ 503, 504)。そのレスポンスとしてマークコンテンツ情報 (C) をセンタ端末 100 から受信し、表示部 340 で表示する (ステップ 505)。その後、レンタル予約するためのユーザの入力を検出した場合 (ステップ 506)、ユーザID (UID)、マークコンテンツ情報 (C) に含まれるコンテンツID (CID)、ユーザにより入力された予約日時 (D) を用いて予約依頼 (R) を作成し、センタ端末 100 に送信する (ステップ 507)。このとき、センタ端末 100 からパスワードなどの入力を求める要求を受信し、ユーザからの入力を検出してセンタ端末 100 に送信する場合もある。レンタル予約するためのユーザの入力を受信しない場合は、そのまま終了する。

【0072】

図 12 は、本発明の第 1 の実施の形態におけるメディア再生機器とセンタ端末との間のシーケンスチャートである。

【0073】

メディア再生機器 200 において、ユーザID 入力検出・保持処理を行う (ステップ 601)。続けてパッケージID 取得処理を行い (ステップ 602)、メディア再生処理を行う (ステップ 603)。ユーザの入力を検出して再生位置取得処理を行い (ステップ 604)、マーク情報作成・送信処理 (ステップ 605) により、マーク情報 (M) をセンタ端末 100 に送信する (ステップ 606)。

【0074】

センタ端末 100 は、これを受信すると、ユーザ特定処理を行って (ステップ 607)、特定されたらマーク情報保存処理を行う (ステップ 608)。

【0075】

また、閲覧端末 300 において、ユーザID 入力検出・保持処理が行われ (ス

テップ 6 0 9)、閲覧依頼処理により閲覧依頼 (L) が作成され (ステップ 6 1 0)、センタ端末 1 0 0 に送信される (ステップ 6 1 1)。

【 0 0 7 6 】

センタ端末 1 0 0 は、これを受信するとユーザ特定処理を行って (ステップ 6 1 2)、マークコンテンツ情報 (C) を作成し、閲覧端末 3 0 0 に送信する (ステップ 6 1 3)。

【 0 0 7 7 】

閲覧端末 3 0 0 は、これを受信して表示する。ユーザの入力により表示されたコンテンツのレンタル予約を行う場合には、予約依頼 (R) を作成し (ステップ 6 1 4)、センタ端末 1 0 0 に送信する (ステップ 6 1 5)。

【 0 0 7 8 】

センタ端末 1 0 0 は、これを受信し、ユーザの特定処理を行い (ステップ 6 1 6)、予約受付処理を行う (ステップ 6 1 7)。

【 0 0 7 9 】

[第 2 の実施の形態]

図 1 3 は、本発明の第 2 の実施の形態におけるシステム構成を示す。本実施の形態では、第 1 の実施の形態において、メディア再生機器 2 0 0 に実装されているとしたユーザ入力検出部 2 3 0、ユーザ ID 取得・保持部 2 4 0、パッケージ ID 保持部 2 5 0、マーク情報送信部 2 7 0 が携帯端末 4 0 0 に実装させたものである。つまり、これらの機器が、メディア再生機器 2 0 0 以外の端末に実装される場合を示す。

【 0 0 8 0 】

図 1 3 において、図 3 と同一構成部分には同一符号を付し、その説明を省略する。また、センタ端末 1 0 0 が携帯端末 4 0 0 からマーク情報を受信した後の動作は、全て第 1 の実施の形態と同様であるので、説明は省略する。

【 0 0 8 1 】

図 1 3 に示す各構成要素について説明する。

【 0 0 8 2 】

メディア再生機器 2 0 0 は、メディア再生部 2 1 0、表示部 2 2 0、再生位置

情報取得部 260、及び通信部 280 から構成される。

【0083】

通信部 280 は、携帯端末 400 とデータ通信を行うものであり、赤外線や Bluetooth などの無線通信や、バーコードの読み取りや IC カードなどのカードによるデータの送受信手段等が挙げられる。

【0084】

携帯端末 400 より再生位置情報取得依頼 (RT) を受信すると、再生位置情報取得部 260 に渡して再生位置情報 (T) の取得を依頼する。そして、再生位置情報 (T) を受け取ると、携帯端末 400 に送信する。それ以外の構成要素は、第 1 の実施の形態と同様である。

【0085】

携帯端末 400 は、ユーザ入力検出部 410、ユーザ ID 取得・保持部 420、パッケージ ID 保持部 430、マーク情報送信部 440、及び通信部 450 から構成される。

【0086】

パッケージ ID 保持部 430 は、ユーザからの入力を検出してパッケージ ID (PID) を特定し、保持する。メディア再生機器 200 で再生されているパッケージを特定するために、ユーザによるパッケージ ID (PID) の入力を検出することを想定したが、メディア再生機器 200 内にパッケージ ID を特定する手段を設け、通信部 280 を介して取得してもよい。

【0087】

また、ユーザ入力検出部 410 は、興味を持った広告コンテンツを特定するためのユーザの入力を検出すると、通信部 450 を介して再生位置情報取得依頼 (RT) をメディア再生機器 200 に送信する。

【0088】

通信部 450 は、メディア再生機器 200 から再生位置情報 (T) を受信したらマーク情報送信部 440 に渡す。

【0089】

次に、図 14、図 15 を用いて処理の流れを説明する。

【0090】

図14は、本発明の第2の実施の形態における携帯端末の処理のフローチャートである。

【0091】

ユーザIDの取得処理（ステップ701）からパッケージIDの取得処理（ステップ704）までは、第1の実施の形態のメディア再生機器200の動作と同様であるため、その説明を省略する。

【0092】

広告コンテンツを特定するためのユーザの入力を検出したら、再生位置情報取得依頼（RT）を通信部450に渡して、通信部450は、これをメディア再生機器200に送信する（ステップ705、706）。そのレスポンスとして、メディア再生機器200から再生位置情報（T）を受信したら（ステップ707）、それをマーク情報送信部440に渡し、ユーザID（UID）、パッケージID（PID）、再生位置情報（T）を用いてマーク情報（M）を作成し、センタ端末100に送信して終了する（ステップ708）。

【0093】

図15は、本発明の第2の実施の形態におけるメディア再生機器の処理のフローチャートである。

【0094】

まず、メディア再生部210でパッケージメディアを再生し（ステップ801）、表示部220に表示する。通信部280が、携帯端末400から再生位置情報取得依頼（RT）を受信したら（ステップ802）、再生位置情報取得部260をこれを受け取り、再生位置情報（T）を取得して通信部280を介して携帯端末400に送信する（ステップ803）。

【0095】

図16は、本発明の第2の実施の形態における携帯端末とメディア再生機器との間のシーケンスチャートである。

【0096】

まず、携帯端末400がユーザID取得処理を行う（ステップ901）。次に

、メディア再生機器 200 でパッケージメディア再生処理が行われ（ステップ 902）、続けて携帯端末 400 でパッケージ ID 取得処理が行われる（ステップ 903）。そして、携帯端末 400 で再生位置情報取得依頼処理が行われ（ステップ 904）、再生位置情報取得依頼（RT）がメディア再生機器 200 に送信される（ステップ 905）。

【0097】

メディア再生機器 200 はこれを受信すると、再生位置情報取得処理を行い（ステップ 906）、再生位置情報（T）を携帯端末 400 に送信する（ステップ 907）。

【0098】

携帯端末 400 は、再生位置情報を受信すると、マーク情報作成・送信処理を行い（ステップ 909）、センタ端末 100 にマーク情報（M）を送信する（ステップ 910）。以降のシーケンスは、第 1 の実施の形態と同様であるので、その説明を省略する。

【0099】

〔第 3 の実施の形態〕

図 17 は、本発明の第 3 の実施の形態におけるシステム構成を示す。本実施の形態は、ユーザの要求に応じて再生中のパッケージに含まれる広告コンテンツの一覧をユーザに示し、その中から興味を持ったコンテンツを選択するユーザに選択させて、そのコンテンツをマークしておくものである。

【0100】

センタ端末 100 がマーク情報を保持した後の動作については、第 2 の実施の形態と同様であるので、その説明は省略する。

【0101】

マーク端末 500 とは、第 1 の実施の形態の例におけるメディア再生機器 200、第 2 の実施の形態における携帯端末 400 に相当する。

【0102】

マーク端末 500 は、ユーザ入力検出部 510、ユーザ ID 取得・保持部 520、パッケージ ID 保持部 530、広告コンテンツ一覧依頼部 540、マーク情

報送信部 550、及び表示部 560 から構成される。

【0103】

マーク端末 500 は、メディア再生機器でない場合もあるので、メディア再生部を備えることは必須ではない。

【0104】

ユーザ入力検出部 510 は、ユーザ ID (UID) やパッケージ ID (PID)、マーク情報の送信の決定などのユーザの入力を検出する。ここで、パッケージ ID (PID) は、パッケージに印刷された数字やバーコードなどをユーザの操作によって読み取らせるものとするが、メディア再生部を備える場合は、メディアに記録されているデジタルデータとして読み取る場合もある。

【0105】

パッケージ ID 保持部 530 は、取得したパッケージ ID (PID) を保持し、広告コンテンツ一覧依頼部 540 に渡す。

【0106】

広告コンテンツ一覧依頼部 540 は、受け取ったパッケージ ID (PID) をセンタ端末 100 に送信する。

【0107】

マーク情報送信部 550 は、まず、センタ端末 100 より広告コンテンツ一覧 (AD) を受信し、表示部 560 に表示を依頼する。ここで、広告コンテンツ一覧 (AD) は、一つのパッケージ内に収録されている広告コンテンツのすべてのコンテンツ ID (CID) からなる。次に、ユーザの入力の検出により、表示部 560 に表示された広告コンテンツ一覧の中からマークするコンテンツのコンテンツ ID (CID) を特定し、ユーザ ID 取得・保持部 520 より受け取ったユーザ ID (UID) と共にマーク情報 (M) を作成し、センタ端末 100 に送信する。

【0108】

その他の構成は、他の実施の形態と同様である。

【0109】

センタ端末 100 は、送受信部 190、広告情報保持部 150、マーク情報保

持部 140、ユーザ特定部 120、ユーザ情報管理部 130 とを有する。

【0110】

送受信部 190 は、マーク端末 500 との間で各種データの送受信を行う。

【0111】

広告情報保持部 150 は、送受信部 190 からパッケージ ID (PID) を受け取ると、広告コンテンツ一覧 (AD) を作成し、送受信部 190 に送る。広告コンテンツ一覧 (AD) には、図 7 に示すようにパッケージ ID 毎に保持しているすべての広告コンテンツのコンテンツ ID (CID) が含まれる。

【0112】

マーク情報保持部 140 は、送受信部 190 からマーク情報 (M) を受け取り、マーク情報に含まれるユーザ ID (UID) とコンテンツ ID (CID) を対応付けて保存する。

【0113】

ユーザ特定部 120 及びユーザ情報管理部 130 は、第 1 の実施の形態の例と同様である。

【0114】

次に、図 18 及び図 19 を用いて処理の流れを説明する。

【0115】

図 18 は、本発明は、第 3 の実施の形態におけるマーク端末の処理のフローチャートである。

【0116】

ユーザ ID の取得処理、及び、パッケージ ID の取得処理までは、第 1 の実施の形態のメディア再生機器の場合と同様であるため、その説明を省略する。

【0117】

ユーザの入力を検出し (ステップ 1001、1002)、パッケージ ID (PID) をセンタ端末 100 に送信して広告コンテンツ一覧 (AD) を要求する (ステップ 1003～1005)。センタ端末 100 から広告コンテンツ一覧 (AD) を受信したら表示部 560 に表示する (ステップ 1006)。コンテンツを選択するユーザの入力を検出したら (ステップ 1007)、選択されたコンテン

ツのコンテンツID (CID) を特定し、ユーザID (UID) を利用してマーク情報 (M) を作成し、センタ端末100に送信する (ステップ1008)。

【0118】

図19は、本発明の第3の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャートである。

【0119】

マーク端末500から広告コンテンツ一覧を要求するためのパッケージID (PID) を受信すると (ステップ1101)、広告情報保持部150にパッケージID (PID) を送り (ステップ1102)、広告情報保持部150は広告コンテンツ一覧 (AD) を作成し、送受信部190を介してマーク端末500に送信する (ステップ1103)。マーク端末500からマーク情報 (M) を受信すると (ステップ1104)、ユーザ特定部120がその中に含まれるユーザID (UID) を使ってユーザを特定し、マーク情報保持部140がユーザID (UID) とマーク情報 (M) に含まれるコンテンツID (CID) を対応付けて保存する (ステップ1105)。

【0120】

図20は、本発明の第3の実施の形態におけるマーク端末とセンタ端末との間のシーケンスチャートである。

【0121】

まず、マーク端末500でユーザIDの取得・保持処理 (ステップ1201)、パッケージIDの取得・保持処理 (ステップ1202) が行われる。ユーザの入力を検出して、パッケージID送信処理を行い (ステップ1203)、マーク端末500からセンタ端末100にパッケージID (PID) が送信される (ステップ1204)。

【0122】

センタ端末100は、パッケージID (PID) を受信し、広告コンテンツ一覧作成処理 (ステップ1205)、広告コンテンツ送信処理 (ステップ1206) が行われ、広告コンテンツ一覧 (AD) がマーク端末500に送信される (ステップ1207)。

【0123】

マーク端末500は、広告コンテンツ一覧（AD）を受信し、広告コンテンツ一覧表示処理を行う（ステップ1208）。続けてユーザによるマークコンテンツ選択検出処理（ステップ1209）を行い、マーク情報作成・送信処理（ステップ1210）を行ってマーク情報（M）をセンタ端末100に送信する（ステップ1211）。センタ端末100は、マーク情報を受信し、マーク情報の保存処理を行う（ステップ1212）。

【0124】

以降のシーケンスは、第1の実施の形態の例の場合と同様である。

【0125】

なお、上記の第1～第3の実施の形態におけるセンタ端末100、メディア再生機器200、閲覧端末300、携帯端末400及びマーク端末500の構成要素をプログラムとして構築し、センタ端末、メディア再生機器、閲覧端末、携帯端末及びマーク端末として利用されるコンピュータにインストールする、または、ネットワークを介して流通させることも可能である。

【0126】

また、構築されたプログラムをセンタ端末、メディア再生機器、閲覧端末、携帯端末及びマーク端末として利用されるコンピュータに接続されるハードディスク装置や、フレキシブルディスク、CD-ROM等の可搬記憶媒体に格納しておき、本発明を実施する際にインストールすることも可能である。

【0127】

なお、本発明は、上記の実施の形態に限定されることなく特許請求の範囲内において、種々変更・応用が可能である。

【0128】**【発明の効果】**

上述のように、本発明によれば、ビデオやDVDなどのレンタルメディア内の他のコンテンツの広告を視聴したユーザが、簡単な操作をするだけで気になったコンピュータについて記憶させて後から改めて閲覧することが可能になる。その際に、その時点でのレンタル可否や、日時を指定した予約の可否などの付加的な

情報をユーザに提供することが可能である。

【0129】

また、広告コンテンツを改めて視聴させることにより、広告の露出機会を増加させることも可能である。

【0130】

また、閲覧端末として携帯端末を用いることにより、マークしたコンテンツの情報を時間や場所を選ばずにユーザに提供することも可能である。

【0131】

さらに、ユーザの操作が行われた時間を使ってマークするコンテンツを特定するのではなく、一覧から選択させることにより、メディア再生機器をシステム中に介在させる必要がなくなる。

【0132】

さらに、課金手段を付加するだけで、有料優先予約サービスや割引予約サービスといった応答サービスを提供することも可能である。また、レンタルを開始していないコンテンツの広告コンテンツを利用する場合に、ユーザのマーク数によって需要予測の高精度化に役立てることも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の原理構成図である。

【図2】

本発明の原理を説明するための図である。

【図3】

本発明の第1の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図4】

本発明の第1の実施の形態におけるメディア再生機器の処理のフローチャートである。

【図5】

本発明の第1の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャートである。

。

【図 6】

本発明の第 1 の実施の形態におけるセンタ端末におけるマーク情報保存処理のフローチャートである。

【図 7】

本発明の第 1 の実施の形態における広告情報保持部で保持するデータの例である。

【図 8】

本発明の第 1 の実施の形態におけるセンタ端末のマーク情報保持部で保持するデータの例である。

【図 9】

本発明の第 1 の実施の形態におけるマークコンテンツ情報作成・送信処理のフローチャートである。

【図 10】

本発明の第 1 の実施の形態におけるコンテンツ情報管理部で保持するデータの例である。

【図 11】

本発明の第 1 の実施の形態における閲覧端末の処理のフローチャートである。

【図 12】

本発明の第 1 の実施の形態におけるメディア再生機器とセンタ端末間との間のシーケンスチャートである。

【図 13】

本発明の第 2 の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図 14】

本発明の第 2 の実施の形態における携帯端末の処理のフローチャートである。

【図 15】

本発明の第 2 の実施の形態におけるメディア再生機器の処理のフローチャートである。

【図 16】

本発明の第 2 の実施の形態における携帯端末とメディア再生機器との間のシー

ケンスチャートである。

【図 17】

本発明の第3の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図 18】

本発明の第3の実施の形態におけるマーク端末の処理のフローチャートである。

【図 19】

本発明の第3の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャートである。

【図 20】

本発明の第3の実施の形態におけるマーク端末とセンタ端末との間のシーケンスチャートである。

【符号の説明】

- 100 センタ端末
- 110 受信部
- 120 ユーザ特定部
- 130 ユーザ情報管理部
- 140 マーク情報保持手段、マーク情報保持部
- 150 広告情報保持手段、広告情報保持部
- 160 コンテンツ情報管理手段、コンテンツ情報管理部
- 170 マークコンテンツ情報作成・送信手段、マークコンテンツ情報作成・送信部
- 180 予約管理部
- 190 送受信部
- 200 メディア再生機器
- 210 メディア再生部
- 220 表示部
- 230 第1のユーザ入力検出手段、ユーザ入力検出部
- 240 ユーザID取得手段、ユーザID取得・保持部

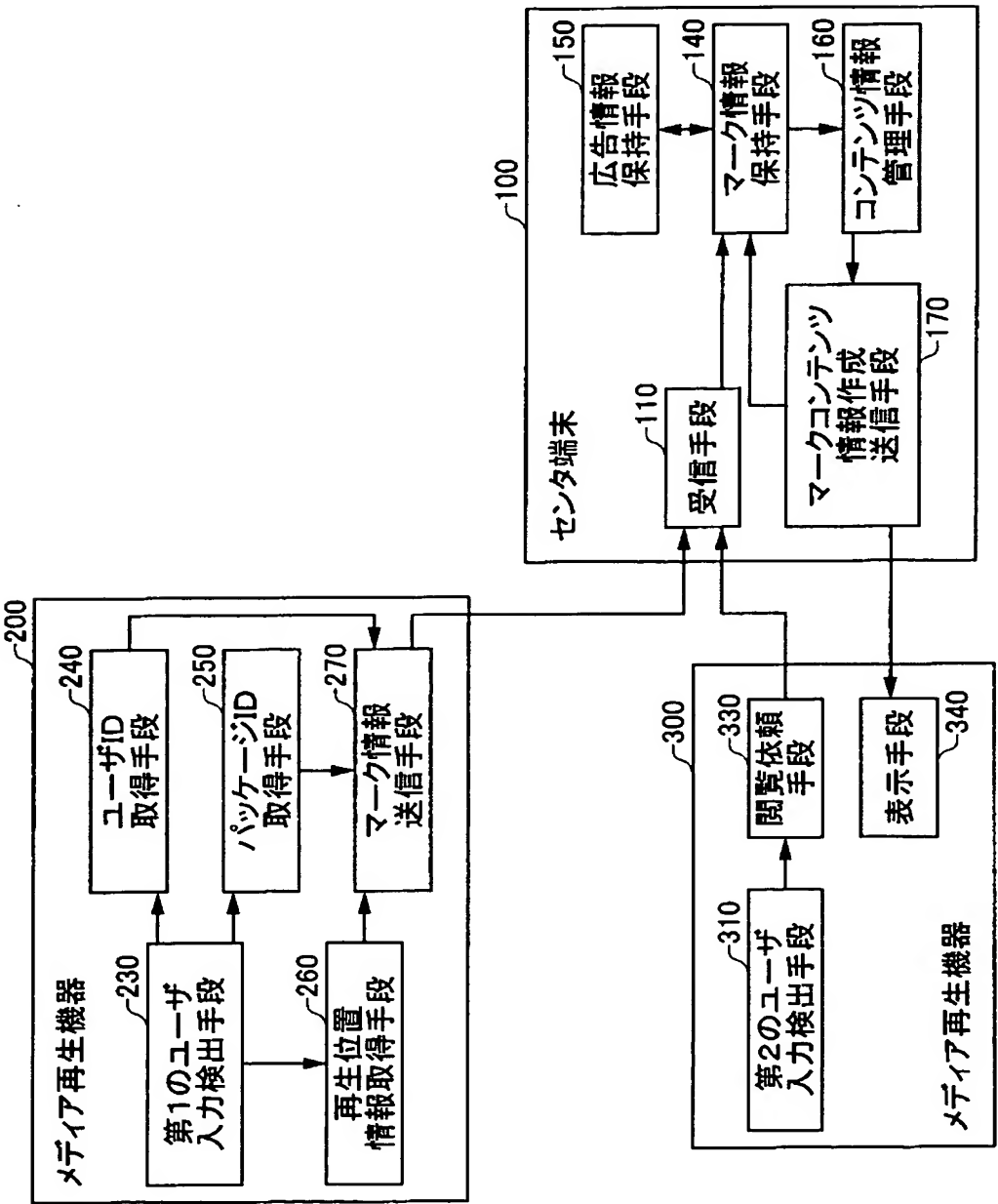
- 2 5 0 パッケージ I D 取得手段、パッケージ I D 保持部
- 2 6 0 再生位置情報取得手段、再生位置情報取得部
- 2 7 0 マーク情報送信手段、マーク情報送信部
- 3 0 0 閲覧端末
- 3 1 0 第 2 のユーザ入力検出手段
- 3 2 0 ユーザ I D 取得・保持部
- 3 3 0 閲覧依頼手段、マークコンテンツ情報閲覧依頼部
- 3 4 0 表示手段、表示部
- 3 5 0 予約依頼部
- 4 0 0 携帯端末
- 4 1 0 ユーザ入力検出部
- 4 2 0 ユーザ I D 取得・保持部
- 4 3 0 パッケージ I D 保持部
- 4 4 0 マーク情報送信部
- 4 5 0 通信部
- 5 0 0 マーク端末
- 5 1 0 ユーザ入力検出部
- 5 2 0 ユーザ I D 取得・保持部
- 5 3 0 パッケージ I D 保持部
- 5 4 0 広告コンテンツ一覧依頼部
- 5 5 0 マーク情報送信部
- 5 6 0 表示部

【書類名】

図面

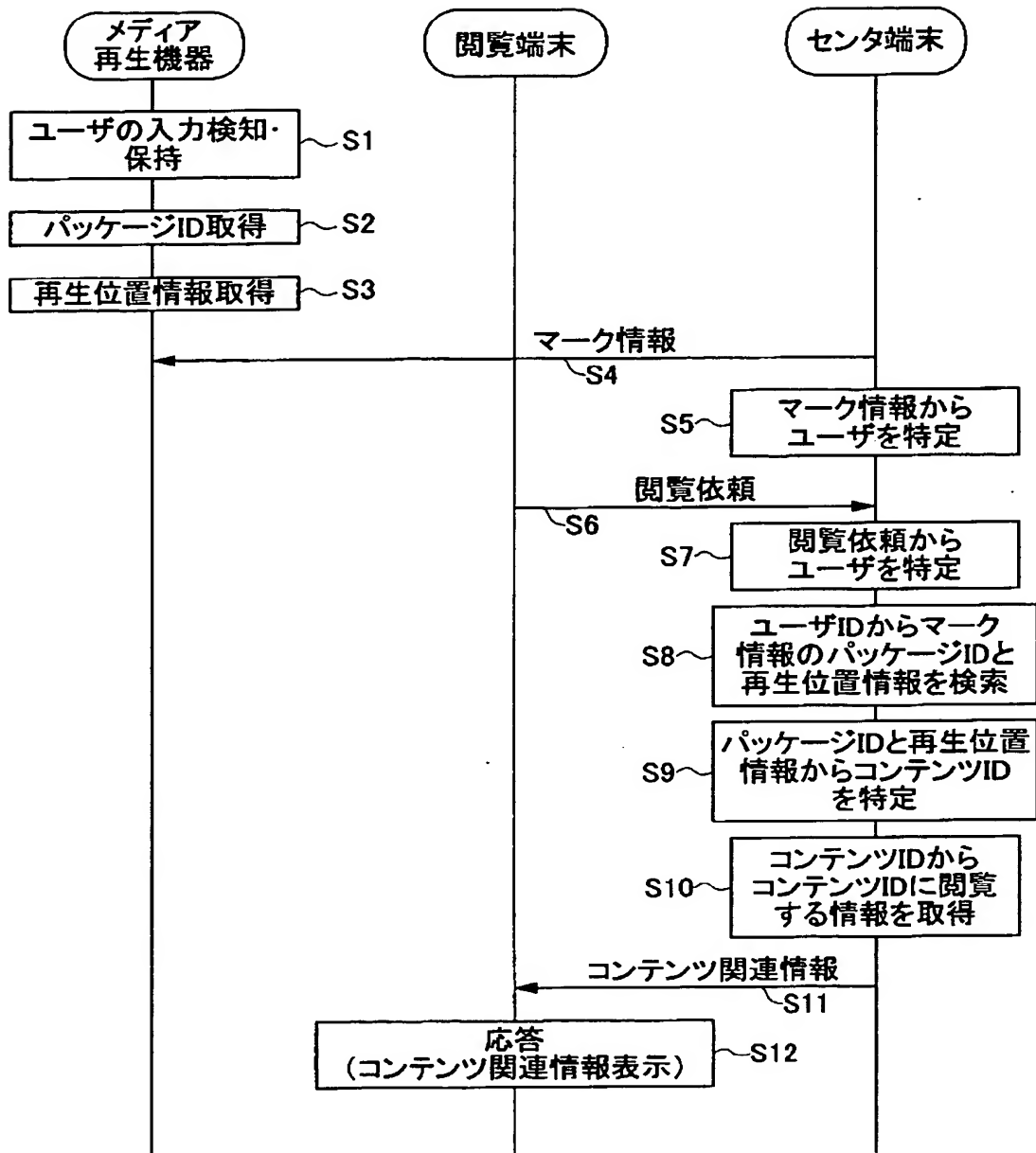
【図 1】

本発明の原理構成図



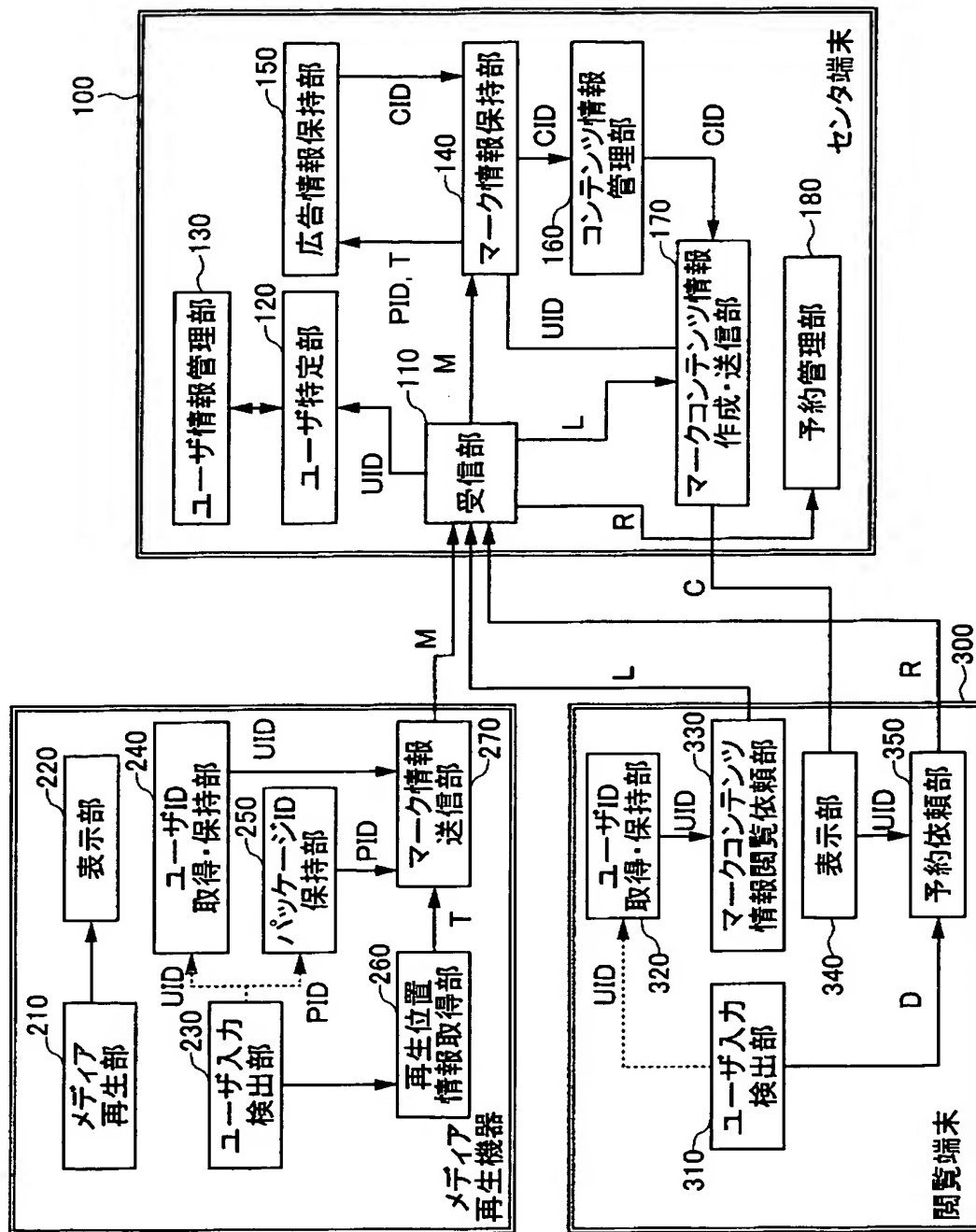
【図 2】

本発明の原理を説明するための図

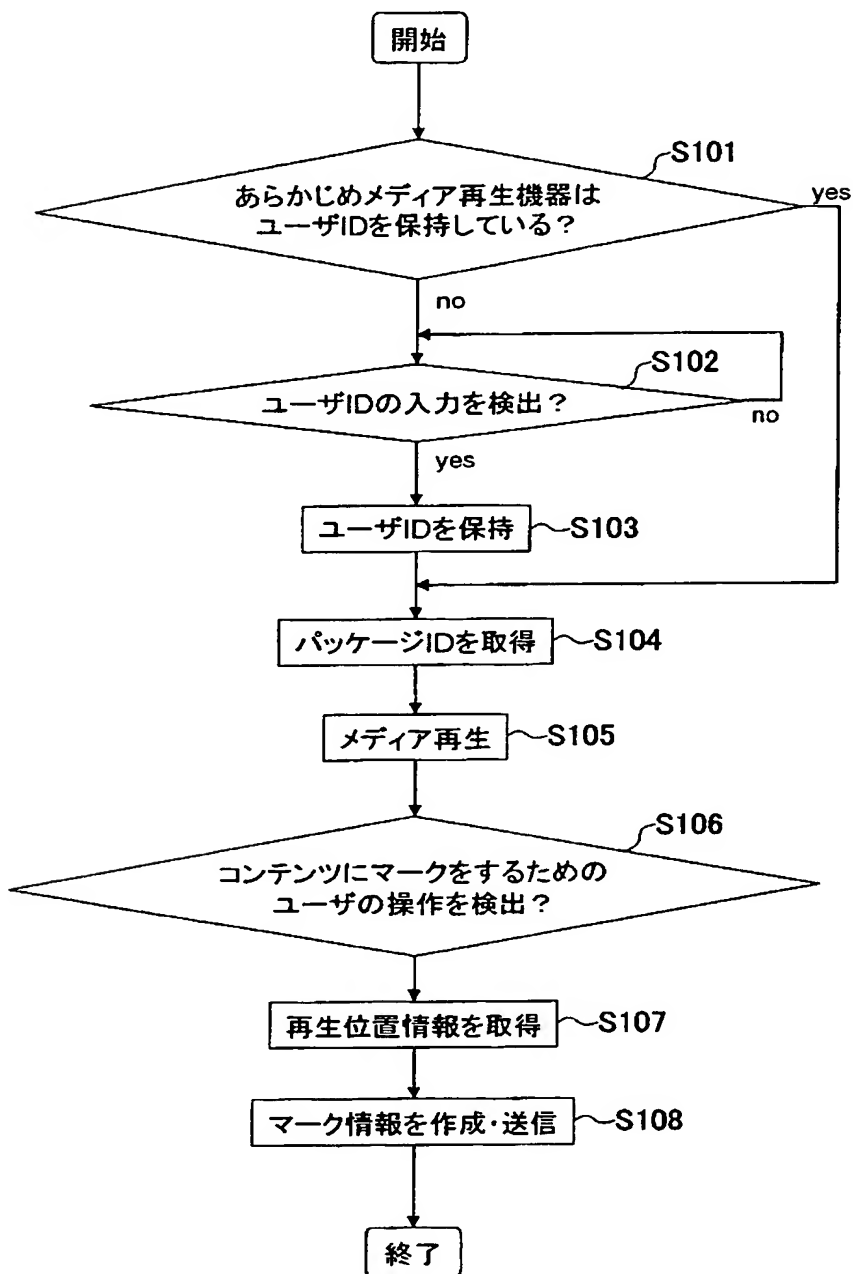


【図 3】

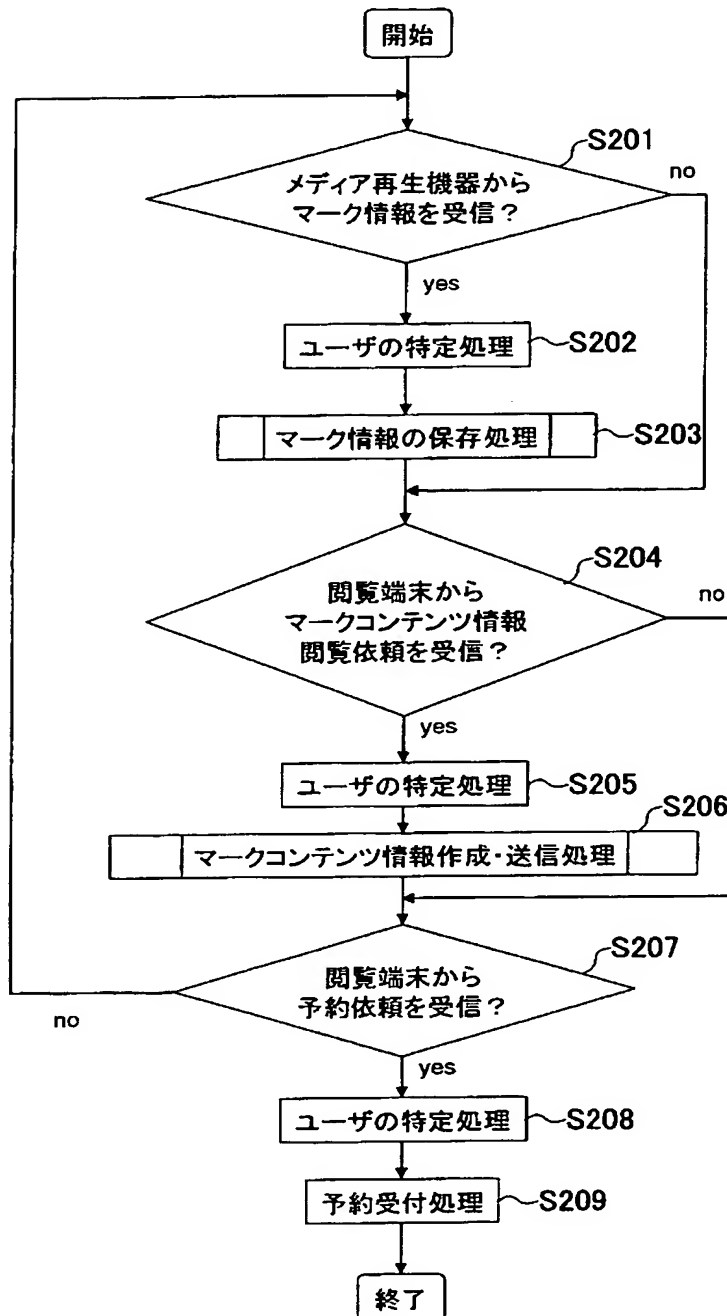
本発明の第1の実施の形態におけるシステム構成図



【図 4】

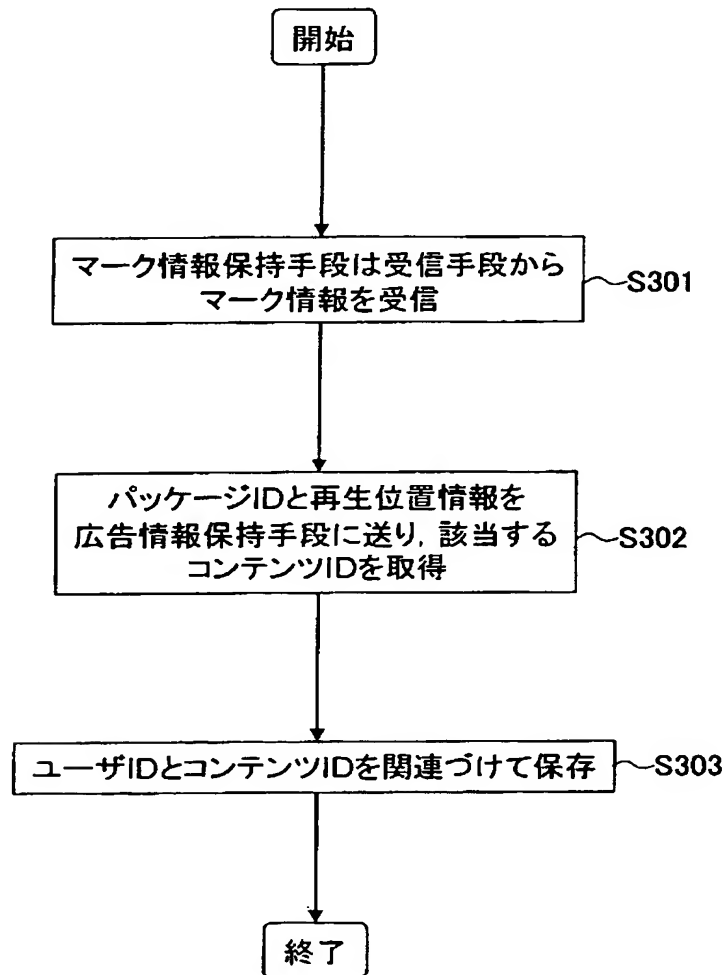
本発明の第1の実施の形態における
メディア再生機器の処理のフローチャート

【図 5】

本発明の第1の実施の形態における
センタ端末の処理のフローチャート

【図 6】

本発明の第1の実施の形態における
センタ端末におけるマーク情報保存処理のフローチャート



【図 7】

本発明の第1の実施の形態における
広告情報保持部で保持するデータの例

パッケージID毎に保持

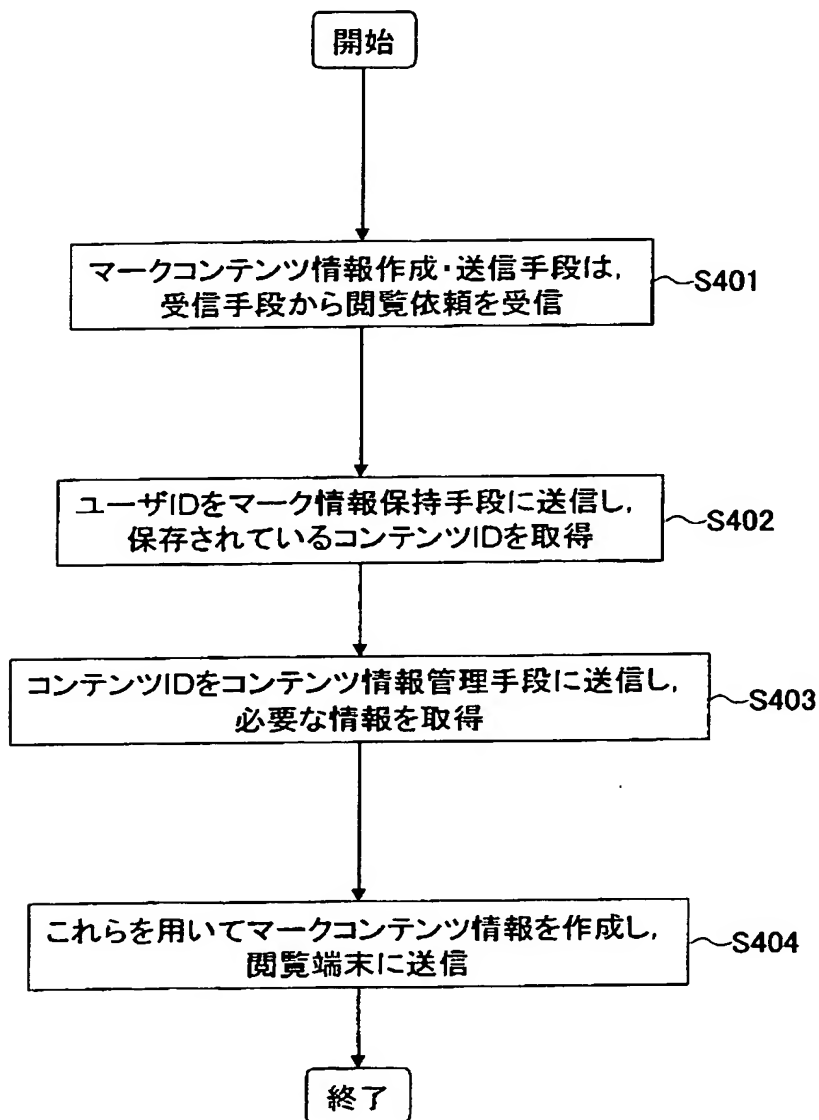
再生位置情報	00:02:35 00:03:05	00:03:05 00:03:35	00:03:35 00:04:20	00:04:20 00:04:50	00:04:50 00:05:50
コンテンツID	0005	0124	0057	0348	5768

【図 8】

本発明の第1の実施の形態におけるセンタ端末の
マーク情報保持部で保持するデータの例

ユーザID	コンテンツID	マーク日時	レンタル有無
User-a	0005	2002/06/30 22:23	0
User-d	5648	2002/07/01 01:51	0

【図 9】

本発明の第1の実施の形態におけるマークコンテンツ
情報作成・送信処理の理のフローチャート

【図 1 0】

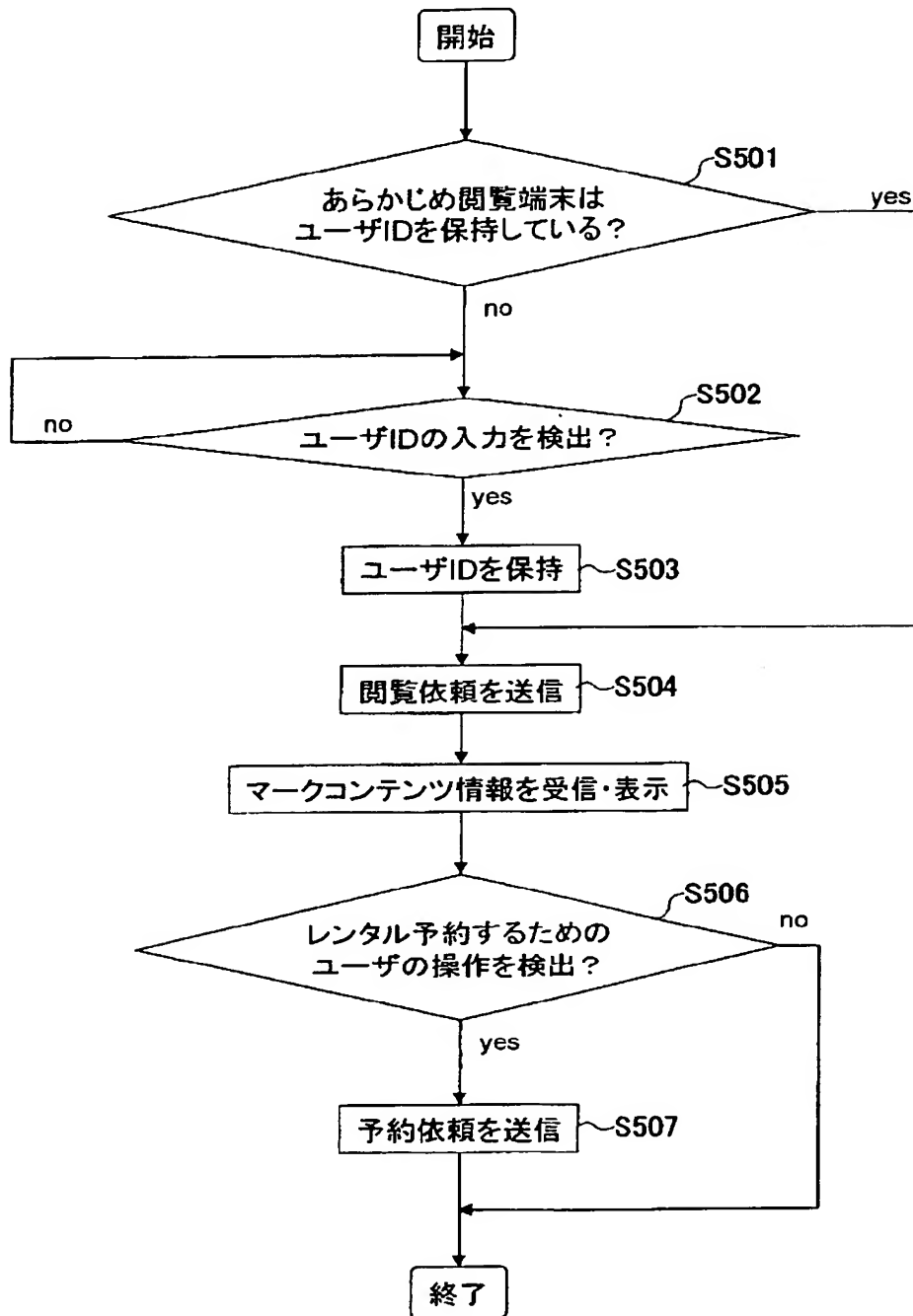
本発明の第1の実施の形態における
コンテンツ情報管理部で保持するデータの例

160

コンテンツID	タイトル	料金	予約可否	レンタル可否
2546	Locky5	350	1	1
0954	Stand by you	250	0	1

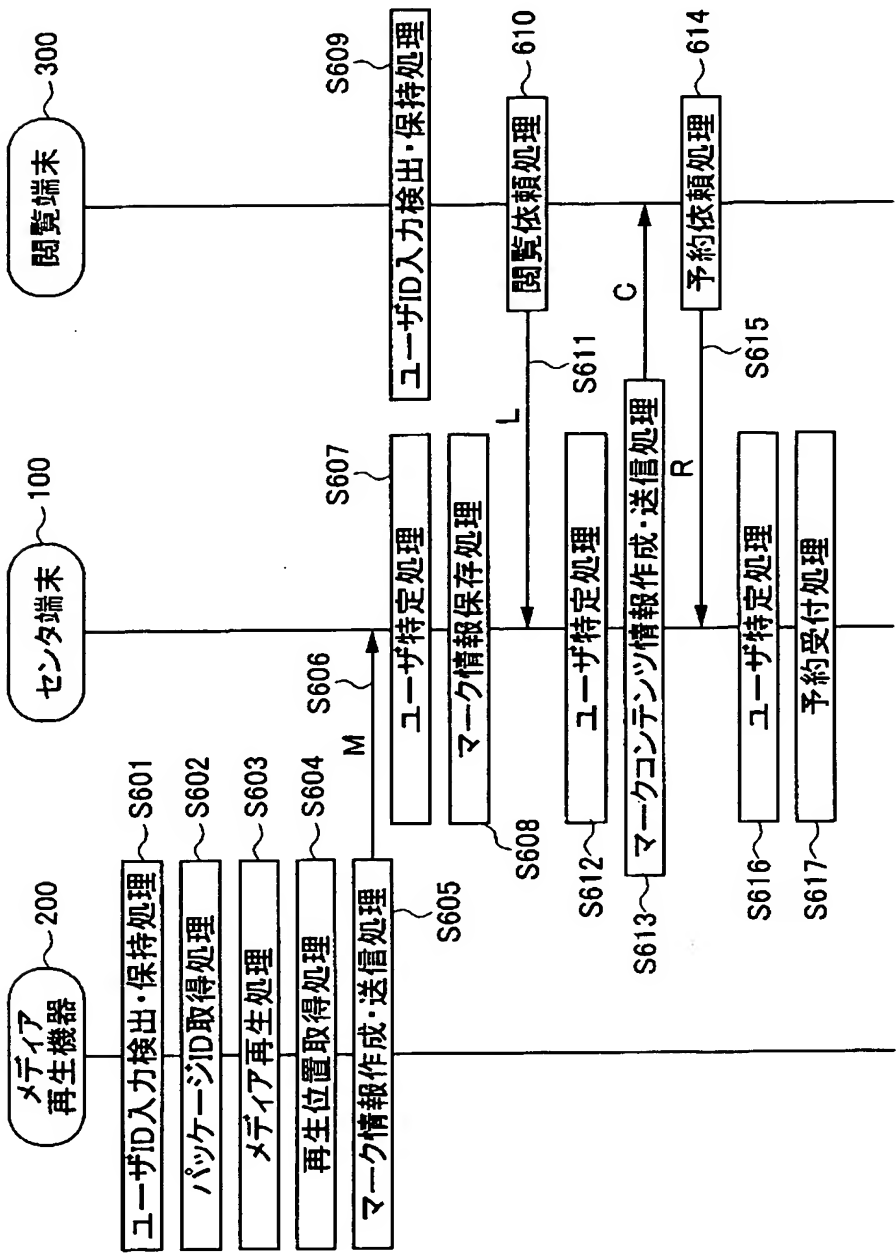
【図 11】

本発明の第1の実施の形態における閲覧端末の処理のフローチャート



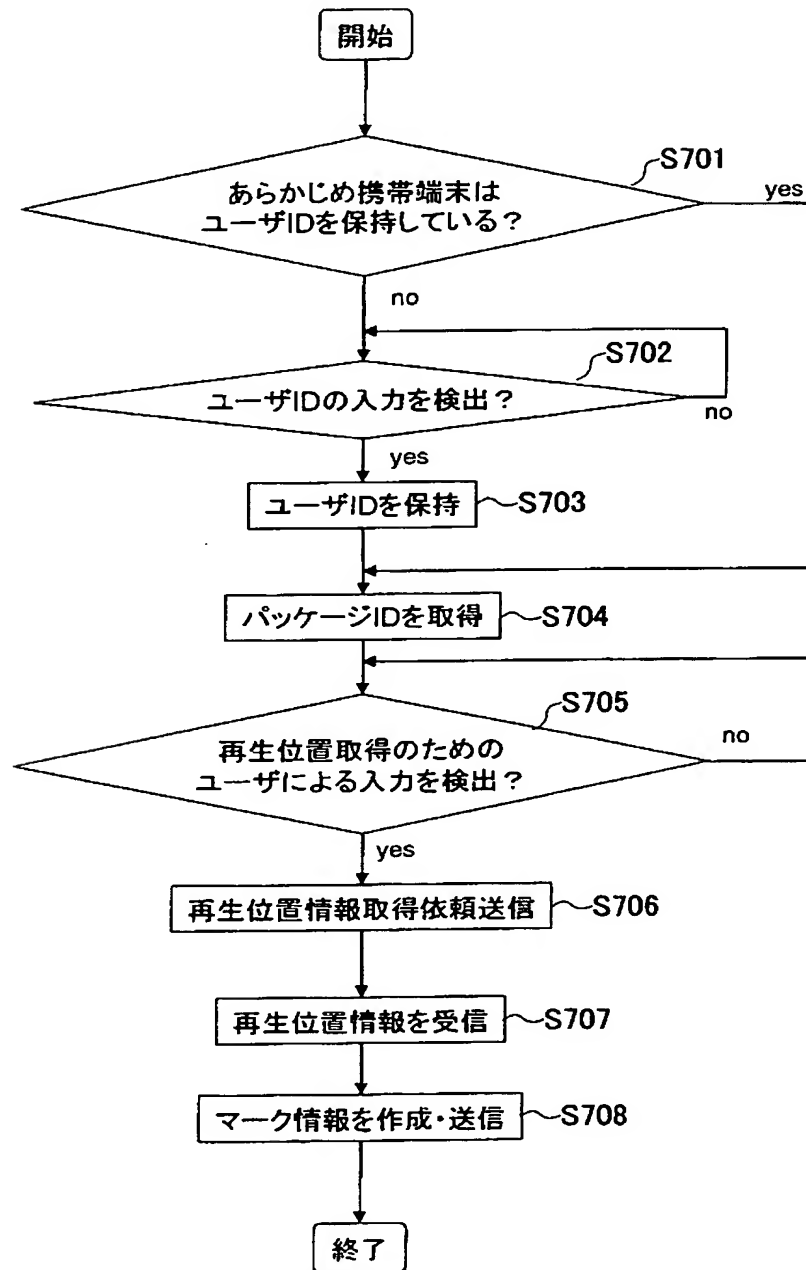
【図 12】

本発明の第1の実施の形態におけるメディア再生機器と
センタ端末との間のシーケンスチャート



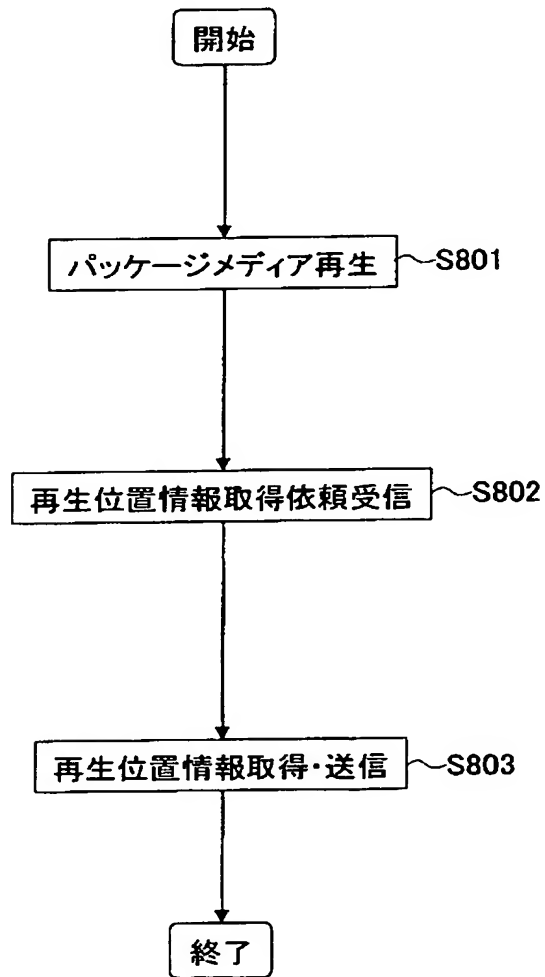
【図 14】

本発明の第2の実施の形態における携帯端末のフローチャート



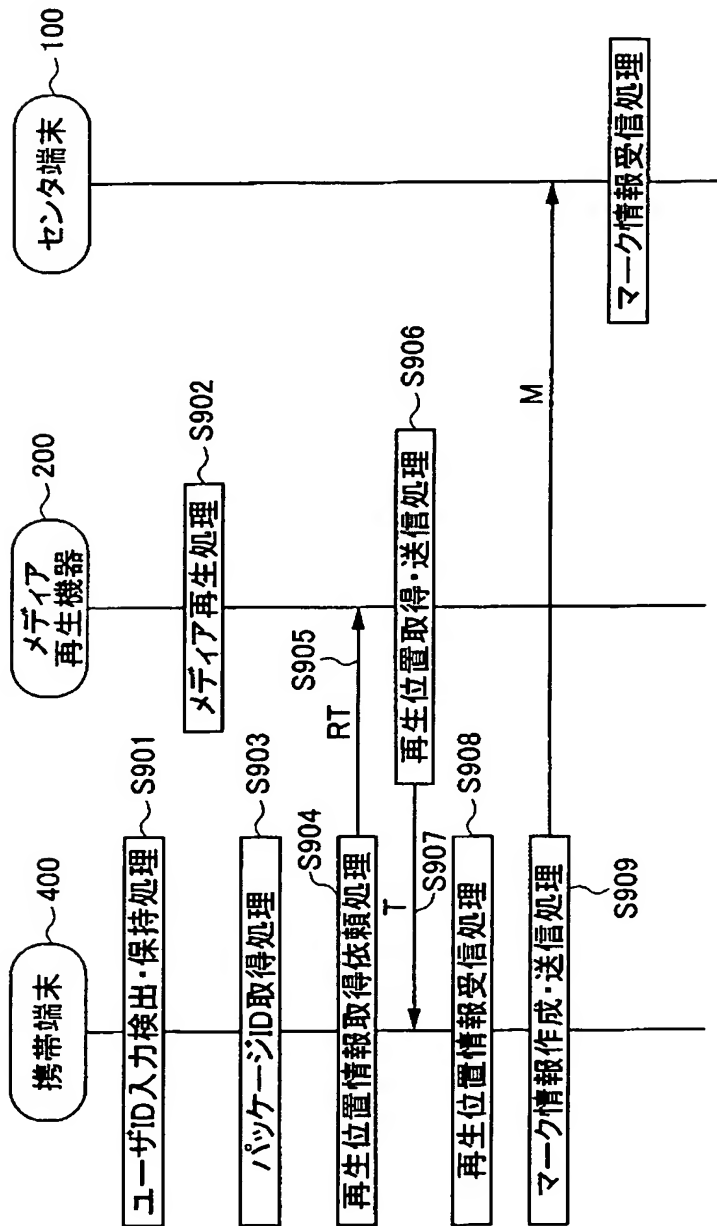
【図 15】

本発明の第2の実施の形態における
メディア再生機器の処理のフローチャート



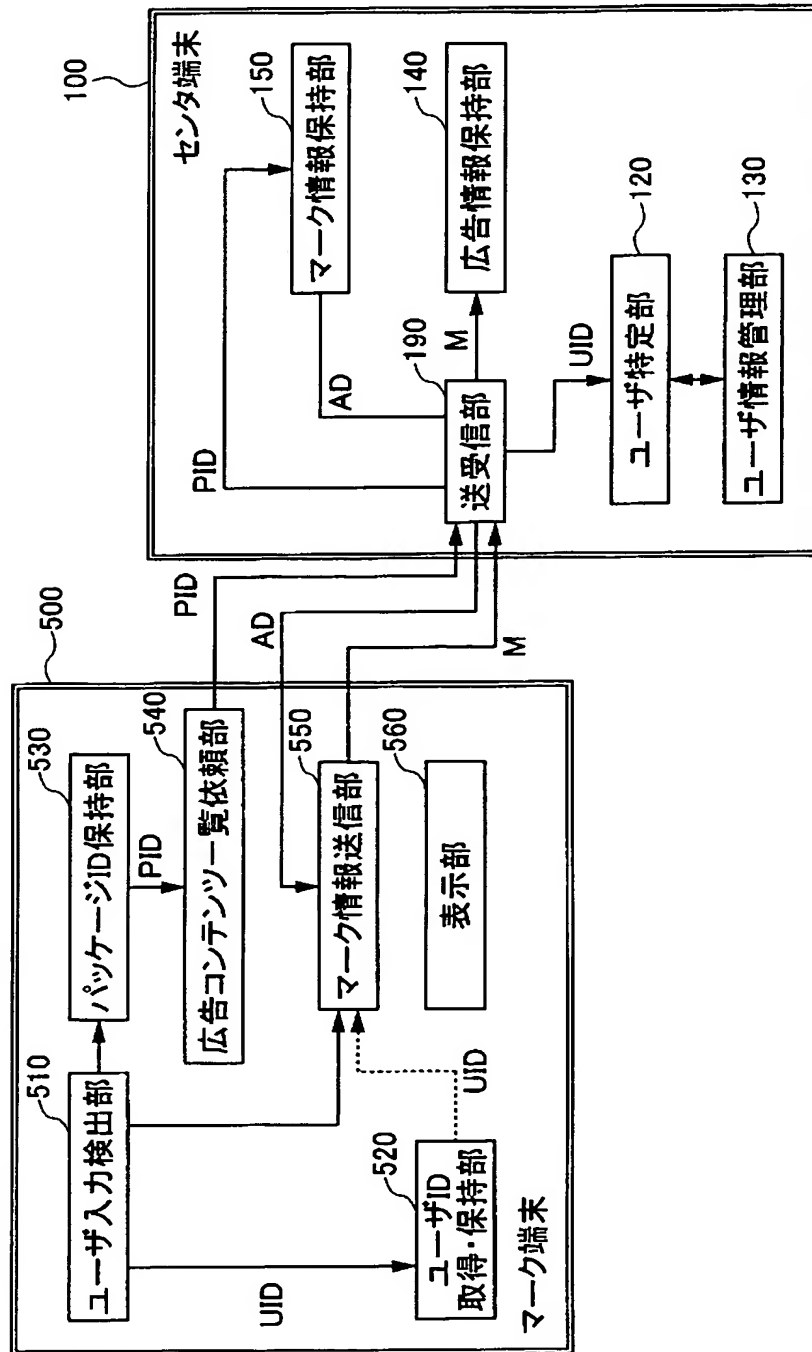
【図 16】

本発明の第2の実施の形態に携帯端末と
メディア再生機器との間のシーケンスチャート

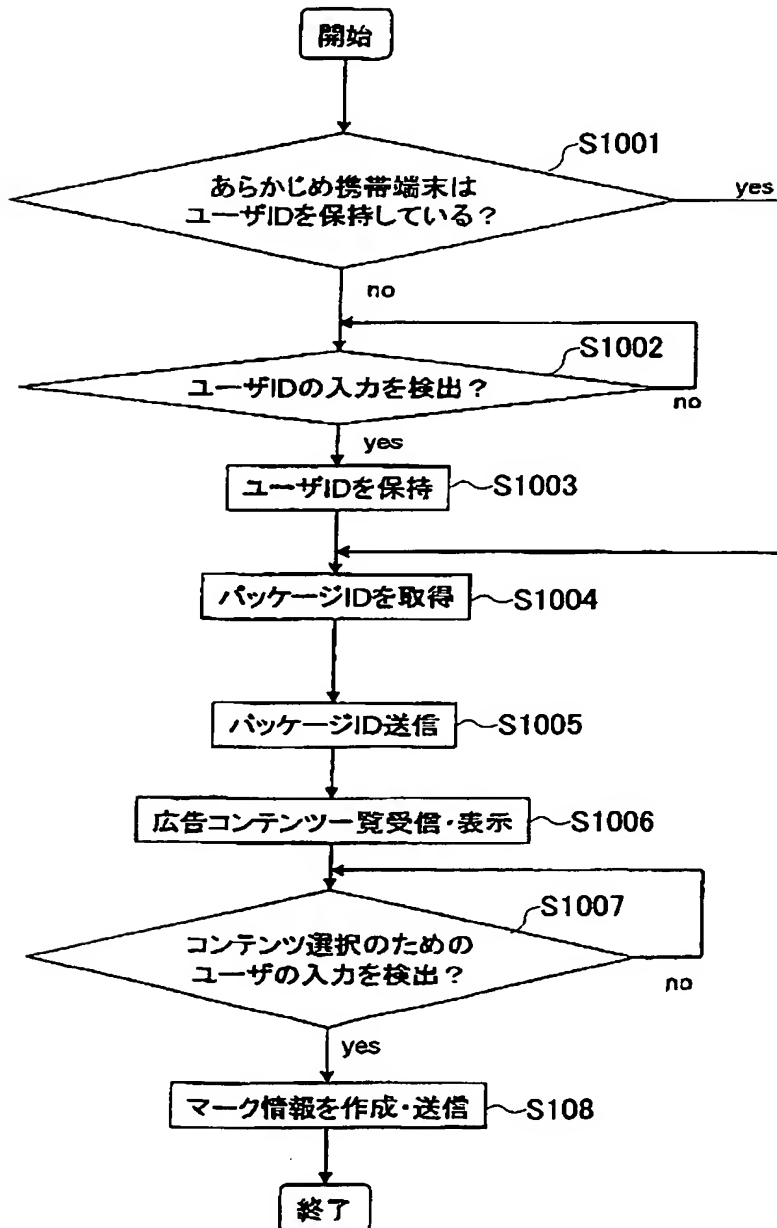


【図 17】

本発明の第3の実施の形態におけるシステム構成図

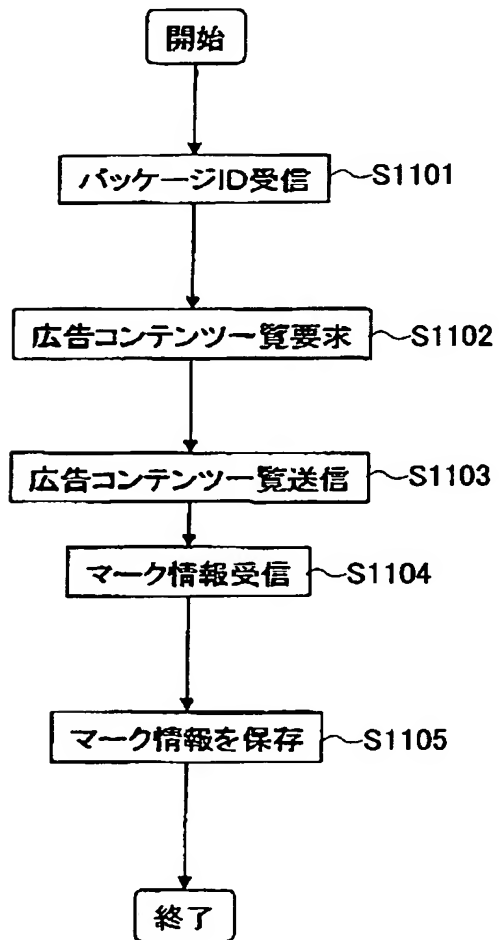


【図18】

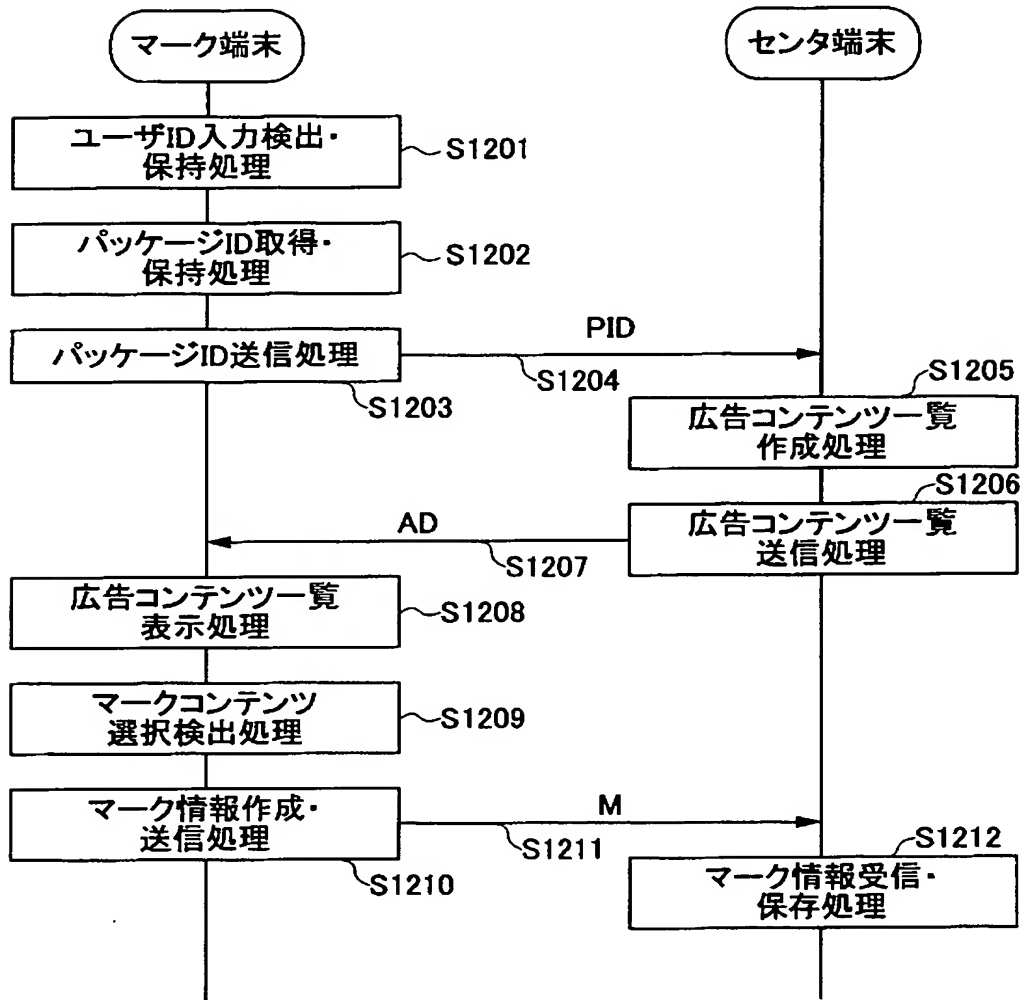
本発明の第3の実施の形態における
マーク端末の処理のフローチャート

【図19】

本発明の第3の実施の形態における
センタ端末の処理のフローチャート



【図 20】

本発明の第3の実施の形態における
マーク端末とセンタ端末との間のシーケンスチャート

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 再生コンテンツの任意の部分を特定するユーザの操作を検出し、その部分に関する詳細情報をユーザが希望する任意のタイミングで、再生機器あるいは、ユーザが表示を希望する任意の端末に表示する。

【解決手段】 本発明は、ユーザがパッケージ再生中に、ユーザが興味を持った時点でセンタ端末に指示を出すことにより、再生位置情報、パッケージ I D、ユーザ I D をセンタ端末に送り、これをセンタ端末においてマーク情報として記憶する。別契機で、センタ端末に閲覧依頼を発行することにより、センタ端末が、ユーザ I D からユーザが興味を持ったコンテンツ関連情報を取得して応答する。

【選択図】 図 2

特願 2002-241156

出願人履歴情報

識別番号

[000004226]

1. 変更年月日

1999年 7月15日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都千代田区大手町二丁目3番1号

氏 名

日本電信電話株式会社